

I 教 育 目 標

1. スクール・ミッション

- 地域の拠点校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創造する意欲を持った生徒の育成
- 将来、地域社会及び国際社会、科学技術分野の発展に貢献できる生徒の育成

2. スクール・ポリシー（学校の三つの教育方針）

(1) 入学者受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- 基礎・基本を重視した学校の学習に前向きに取り組むとともに、大学等の進学を目指し努力する生徒
- 学習だけでなく、部活動や生徒会活動、ボランティア活動などあらゆる活動にも前向きに取り組む生徒

(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- グローバル化社会に対応できるように、外国語によるコミュニケーション能力の育成に努めるとともに、2年生全員の海外研修を行う。また、本校独自の海外短期語学研修を実施する。
- 一単位時間60分の授業を行うとともに、各種講座等を実施し、希望進路の実現を図る。
- 文部科学省SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定を受けての実践と研究を推進する。「SS課題探究」や「総合的な探究の時間」などの探究活動の充実を図る。
- Society5.0で実現する社会に対応するため、情報及び情報手段を主体的に選択し活用できる情報活用能力の育成を目指す。
- 各学科の特色を活かした教育活動を行う。
 - ・国際文科：国内及び国際社会で活躍できる人材の育成を目指すため、英語コース及び中国語コースを設置し、「ディベート・ディスカッション」「エッセイライティング」「中国語」等の特色ある科目を学習して、外国語による実践的コミュニケーション能力の育成を図る。
 - ・理数科：数学及び自然科学における基本的な概念、原理、法則等について系統的に学習するとともに「SS課題探究」等の特色ある科目をとおして問題解決能力や科学的思考力等を育成する。
 - ・普通科：多様化した生徒の特性・進路等に応じた教育を目指すとともに生徒一人一人の個性の伸長と自立を図る。そのために個々の生徒の進路にあった多岐にわたる選択科目を設置する。

(3) 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

グローバル化・情報化の進展など変化の著しい社会において柔軟に対応し、たくましく主体的に生き、人々から信頼され、地域社会や国際社会、科学技術分野の発展に貢献できる心豊かな人材の育成を目指す。そのため、本校での教育活動等を通して、次の7つの力を育成する。

育成する力と生徒像

- | | |
|------------|--|
| ①ことばの力 | …… ことばを正しく理解し、適切に使用して表現する生徒 |
| ②想像力 | …… TPOに応じて状況をイメージし、的確な行動や発言ができる生徒 |
| ③論理的判断力 | …… 学んで得たものをまずは受け止め、理解したうえで論理的に判断する生徒 |
| ④情報活用能力 | …… 学んで得たものを有機的につなげる生徒 |
| ⑤自己マネジメント力 | …… 先を見通して、時間・行動・所有物を適切にマネジメント（管理・計画）する生徒 |
| ⑥課題発見・解決力 | …… 日頃から自発的・協働的に、具体的な課題を発見し、解決に向けて行動する生徒 |
| ⑦創造力 | …… これまでに培ってきたものを活かして、より良いものを作り出す生徒 |

3. 教育目標

憲法や教育基本法の精神に則り、グローバル化・情報化の進展など変化の著しい社会において柔軟に対応し、たくましく主体的に生き、人々から信頼される人材の育成を目指します。この理念を実現するために次の教育目標を設定します。

- (1) 創造性に富んだ、豊かな人間性を養い、自ら学ぶ意欲を育て、生徒一人一人の個性の伸長を図ります。
- (2) 調和のとれた国際感覚を身につけ、グローバル社会で積極的に行動する意欲を持った人材を育成します。
- (3) 生徒の進路に応じた特色ある教育課程をとおして、心身を鍛え、安全で安心して活動できる環境をつくります。

4. 学科の目標

(1) 国際文科

ア 国内及びグローバル社会で活躍できる人材の育成を目指すため、英語コース及び中国語コースを設置し、「ディベート・ディスカッション」「エッセイライティング」「中国語」等の特色ある科目を学習して、外国語による実践的コミュニケーション能力の育成を図る。

イ Society 5.0で実現する社会に対応するため、情報及び情報手段を主体的に選択し活用できる情報活用能力の育成を目指す。

ウ 国公立大学、私立大学の文科系学部への進学対策を推進する。また、海外及び外国語系上級学校進学への情報提供をする。

(2) 理数科

ア 数学及び自然科学における基本的な概念、原理、法則等について系統的に学習するとともに「SSリテラシー」「SS課題探究」等の特色ある科目をとおして問題解決能力や科学的思考力等を育成する。

イ Society 5.0で実現する社会に対応するため、情報及び情報手段を主体的に選択し活用できる情報活用能力の育成を目指す。

ウ 国公立大学及び私立大学の医・歯・薬学科、理工系学部への進学対策を推進する。

(3) 普通科

ア 多様化した生徒の特性・進路等に応じた教育を目指すとともに生徒一人一人の個性の伸長と自立を図る。そのために個々の生徒の進路にあった多岐にわたる選択科目を設置する。

イ Society 5.0で実現する社会に対応するため、情報及び情報手段を主体的に選択し活用できる情報活用能力の育成を目指す。

ウ 国公立大学及び私立大学の文科系学部及び理工系学部への進学対策を推進する。

5. 本校教育の特色

- (1) 知・徳・体の調和のとれた教育を目指します。
- (2) 各学科の特色を生かした教育活動を行います。
- (3) 三学科設置の利点を生かすとともに、選択科目の多様化により、生徒の個性の伸長と希望進路への対応を図ります。
- (4) 教科指導、進路指導の徹底を図ります。
- (5) グローバル化社会に対応できるように、外国語によるコミュニケーション能力の育成に努めます。
- (6) 一単位時間60分の授業を行います。
- (7) 早朝講座や放課後講座等を実施します。
- (8) 現役での大学合格を目指します。
- (9) 英検2級以上、及び各種検定試験等の上級合格を目指します。
- (10) 2年生全員の海外研修を行います。
- (11) 本校独自の海外短期語学研修を実施します。

6. 令和6年度の成果と課題

(1) 成果（令和7年3月24日現在）

①国公立大合格者150名（卒業生229名に対する割合65.5%）、私大合格者延べ163名

②進路決定率88.2%

(2) 課題

①難関国立大、医歯薬系大、難関私大等進学システムの充実

②学習指導要領に対応した評価・指導の研究及び多様な大学入試制度への対応

③本校が目指す「自走」に向けたキャリア教育等の推進

④時代に即した内規の改正

7. 8. 令和7年度の学校経営目標と目標に対する取組

7 令和7年度の学校経営目標	8 学校経営目標に対する取組
(1) スクールミッション、スクールポリシーに基づいた学校経営を推進します。 【スクールミッション】 ○地域の拠点校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創造する意欲を持った生徒の育成 ○将来、地域社会及び国際社会、科学技術分野の発展に貢献できる生徒の育成 【アドミッションポリシー】 ○基礎・基本を重視した学校の学習に前向きに取り組むとともに、大学等の進学を目指し努力する生徒 ○学習だけでなく、部活動や生徒会活動、ボランティア活動などあらゆる活動にも前向きに取り組む生徒 【カリキュラムポリシー】 ○文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定を受けての実践と研究を推進する。「SS課題探究」や「総合的な探究の時間」などの探究活動の充実を図る ○Society5.0で実現する社会に対応するため、情報及び情報手段を主体的に選択し活用できる情報活用能力の育成を目指す 【グラデュエーションポリシー】 グローバル化・情報化の進展など変化の著しい社会において柔軟に対応し、たくましく主体的に生き、人々から信頼され、地域社会や国際社会、科学技術分野の発展に貢献できる心豊かな人材の育成を目指す。そのため、本校での教育活動を通して、次の7つの力を育成する。 ①ことばの力 ②想像力 ③論理的判断力 ④情報活用能力 ⑤自己マネジメント力 ⑥課題発見・解決力 ⑦創造力 (2) 校訓「図南雄飛」の具現化を図り、地域社会やグローバル社会に貢献できる心豊かな人材の育成を目指します。 (3) 基本的生活習慣の定着と家庭学習の充実を図り、知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成します。	(1) スクールミッション、スクールポリシーに基づいた学校経営に対する職員の共通理解を図る。 (2) ①生徒個々の的確な実態把握と個に応じた指導の徹底を図る。 ②3年生の進路目標： 国公立大合格率(卒業者に対する合格率)50%以上、進路決定率80%以上 ③難関大学進学対策の充実 ④国際交流の充実 ⑤実授業時間の確保（60分授業、出張・計画年休等の対応） (3) ①「凡事徹底」を図り、あいさつや時間を守る、スマートフォン使用等の基本的生活習慣の定着を図る。 職員自ら率先垂範！（職員もTPOに応じた言動、服装を！） ②基礎学力の定着に向けた指導の充実を図る。 ③授業改善による学習指導の充実を図る。（現状を把握し改善を図る） ④「自学自習」の積極的活用等による自発的な（家庭）学習習慣の確立を図る。

(4) 文部科学省SSH指定を受けての実践と研究を推進します。 (5) GIGAスクール構想の取組を推進します。 (6) 21世紀をたくましく切り開くリーダーとなるためのキャリア教育を推進します。 (7) 全職員の協働体制を推進し、組織的・系統的な教育活動の実践に努め、学校力の向上を図ります。 (8) 保護者、同窓会、後援会との連携を強化し、地域から信頼され、開かれた魅力ある学校づくりを推進します。また、学校情報の積極的な提供に努めます。 (9) 教職員の専門性の向上を図ります。 (10) 危機管理体制の充実に努めます。 (11) 働きやすい職場環境の構築に努めます。 (12) 県教育委員会「設置する学校に係る運動部活動方針」等に則り運動部活動方針の策定、指導・運営に係る体制の構築に努めます。	(4) 文部科学省SSHに関する研究体制の充実に図る。 ①全職員体制での取組を推進する。 ②「SSH課題探究」や「総合的な探究の時間」などの探究活動の充実に図る。 (5) ①1人1台端末を活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の研究を推進する。 ②多様な学習方策を用い、新たな学びを推進する。 (6) キャリア教育の充実に図るため、同窓生や外部人材を活用した講演会や講義等を推進する。 (7) ①目標の管理と学校経営マネジメントの推進を図る。 ②学校評価等を活用したPDCAサイクルによる学校経営・運営の改善を図る。 (8) 入学者の定員確保に努める。 ①ホームページや学校案内リーフレットの内容の充実に図る。 ②学校説明会、地域説明会等の充実に図る。 ③関係機関、中学校等への本校のPRに努める。 (9) 教職員の校内及び校外研修等を推進し、専門性を高め指導力の向上を図る。 (10) ①生徒にとって安心・安全な学校づくりに努める。 安心できる学校生活アンケート等を活用したいじめ防止、別室登校・不登校等支援、校内及び学校付近の安全確認に努める。 ②職員の服務規律の遵守 不祥事0運動の推進(特に飲酒の翌日に注意)、コンプライアンスリーダーの活用する。 (11) ①働きやすい職場環境(助け合い、支え合い、ヘルプの言える支持的風土の醸成)作りに努める。 ②メリハリのある職場環境の創出(協働体制、福利厚生の充実)を進める。 ③働き方改革の方策(行事・業務の精選、協働体制の充実、時間外勤務の縮減、年休取得率の向上、個人毎の定時退庁日(ノー部活デー)の設定など)の推進に努める。 (12) ①「学校の運動部活動に係る活動方針を」策定する。 ②運動部顧問は、年間の活動計画並びに毎月の活動計画及び活動実績を作成する。 ③上記活動方針及び活動計画等をホームページへの掲載等により公表する。 ④管理者、指導者ともに「部活動等の在り方に関する方針(改訂版)」実施に係る取組チェックシートを通して、「令和5年度：暴力・暴言・ハラスメントの根絶『ゼロ元年』継続」の周知徹底を図る。
--	---